

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	小学校修繕事業			
予算科目	10 款 2 項 1 目			
総合計画での位置付け	教育・文化・スポレクの振興～うるおいと生きがいのひとづくり～ 学校教育の充実			
所管課情報	担当課:	学校教育課	電話番号(内線):	733
記入者情報	所属長:	田中 浩	担当責任者:	小田 忠幸
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 17 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	市内9小学校			
根拠法令等				
事業の目的	児童が、安全で、安心に過ごせる学校施設の維持管理を図る。			
事業の内容	小学校施設及び設備の修繕・改修			
改善策の 具体的 取り組み (当初)				
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	12,147	14,327	6,658	10,706
	人件費	1,220	1,193	556	1,193
	合計	0	15,520	7,214	11,899
人件費 内訳	人工数	0.15	0.15	0.07	0.15
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	1,220	1,193	556	1,193
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	13,367	15,520	7,214	11,899

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
整備状況	%	80	100	46	77

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	20,000	20,000	20,000	20,000	16,000	96,000

成果指標				
成果指標	支出額÷予算額			
指標設定の考え方	安全で安心な施設の整備が図れたかを指標とすべきと考えるが、設定が難しいため、予算額(学校の要望)に対する執行率を指標とし整備状況とする。なお、効率化、コストの縮減を図り適正な執行に努める。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標24年度
目 標	100	100	0	0
実 績	80	77	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	今年度計画していた修繕箇所については、各学校と施行時期を調整しながら実施することができた。突発的な修繕箇所については、各学校予備費計上分にて対処し、コスト縮減など、適正な執行を図ることができた。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	学校施設の維持管理は、子ども達の安全を守るためにも必要不可欠なものである。「長寿命化計画」を策定して今後の維持管理を計画的に行う必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題